



令和4年11月7日発行

立山町教育センターだより 号外22

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

訪問研修を終えて⑧ 立山北部小学校

研修主題 : 学びを実感し 主体的に学び続ける子供の育成

本校では、子供自らが課題解決に向けて追究していく過程における、「分かった」「できた」といった学びの実感が、次の学びに対する意欲を高めると考え、研修を進めています。学校訪問研修では、次のような成果と課題が明らかになりました。

【明らかになったこと】

- ・学習指導案の指導上の留意点に、「学びを実感できるようにするために」という項目を設け、子供が「分かった」「できた」と実感できるようにするための、具体的な手立てを想定し、部会研修を進めてきたことが、本時における子供の学びにつながった。
- ・これまでの学びを生かすことのできるような単元構想や掲示物、ワークシート等を工夫することで、習得した知識や技能を活用し、自分の考えを深めていくことにつながった。
- ・子供が分かりにくいと感じる表現や、疑問に思う言葉を取り上げて学級全体に広げてみんなで考える場をつくったり、言葉だけでは理解しにくい言葉を写真や実物を見せて確認する場を設けたりすることで、子供の「考えてみたい」「知りたい」といった思いに沿った学習を進めることができる。
- ・互いに考えていることや、これからしようとしていることのイメージを共有化することが、他者理解につながり、主体的な関わりを生むきっかけとなる。また、学びの視覚化は、無意識の学びを意識させ、学びの実感につながる。

【課題】

- ・子供が必要感をもつことのできるような課題をもっと吟味する必要がある。そのためにも、子供が何を「知りたい」「できるようになりたい」と思っているのか、実態を把握するとともに、次の時間の学びにどのようにつながるのかを意識した課題を設定するようにしたい。
- ・学びの成果をもっと実感できるようにするための、「まとめ」と「振り返り」の工夫をしておく必要がある。そのためにも、「まとめ」と「振り返り」に書くことの内容を整理し、いくつかの例を示しながら子供たちにも書き方をさらに指導していくとともに、「まとめ」と「振り返り」をすることの意味と価値を伝えていくようにしていきたい。



訪問研修では、様々な視点から教えていただき、私たち教員も多くの学びを実感することができました。教えていただいたこと生かし、主体的に授業改善に取り組んでいきたいと思っております。

文責 教務主任 大島 孝明